

ゴミ焼却場の火事現場視察 まるで爆撃うけたよう

改修費用は10億円

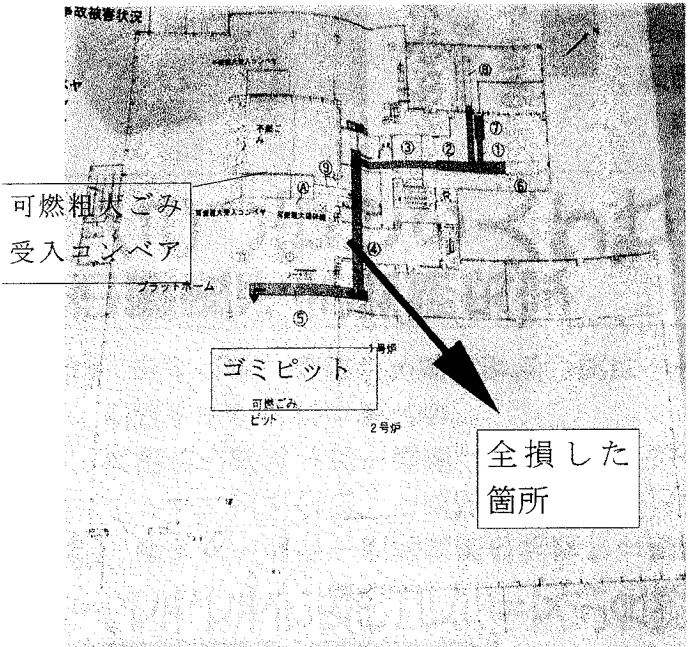
12月16日、衣浦衛生組合議会で、議会全
員協議会が開かれ、11月20日に発生した火
事の経過報告が行われました。会議終了後、
火事現場の視察が行われました。
質疑の中で、改修費用は約10億円との報
告がされました。

復旧は来年7月ごろ

火災現場は、2階の建屋内が高熱で焼け
ただれていました。ダクトの塗装は、めく
れ、配線は解けてくっついていきます。まる
で爆撃を受けたような状態が、真つ暗な中
広がっていました。改修にはほとんど手作
業で機器入れ替えが必要です。すべての機
器は受注生産品です。衣浦衛生組合当局は、
6月中には完了して、7月に開所したいと
いっています。復旧費用は建物災害共済の
保険適応となりますがその金額は未定です。

1月14日まで持ち込み 家庭ごみ搬入中止

年末年始と、例年持ち込みごみは、周辺
農道まで長蛇の列となっています。



組合当局は、1月14日午前中から一般家
庭の持ち込みを開始し、それまでは中止と
しています。

どうなる年末年始

現在、組合では可燃粗大ごみ粉碎施設が
全損したために、業者の持ち込みゴミの選
定枝などは、短く切ってゴミ袋に入れるこ
とを条件に受け入れています。

年末なので、市民からのカーペット、布
団などは作業員が手作業で切断しています。
日本共産党は、川向こうの、し尿処理処
理施設となりの広場や、建物を使って資源
ゴミを受け入れるように求めています。
同時に、市民に可能なものは年明けに排
出をしていただくように協力を求める呼び
かけが必要と考えます。

石川島播磨の設備の検証も

11月13日には、一宮市奥町のごみ処理施
設「一宮市リサイクルセンター」の火災も
不燃物や粗大ごみを細かく砕いて流すベル
トコンベヤー付近で発生しました。
普段は火の気のない場所だとい
とです。

また4月4日には、長野市の資源
再生センター（松岡二丁目）内で発
生した火災は、まる3日燃え続けて
いました。衣浦衛生組合の焼却施設
は、石川島播磨IHIにより設置さ
れたものです。油汚れや、火の危険
性のある場所に、可燃性のゴムコン
ベヤーが使われていたのが問題なっ
たのか、発火の際消火可能な施
設だったのかなど、製造者の責任
について検証する必要があります。



火事現場視察
の山口議員
について
検証の必
要があ
ります。



一宮市の火事

不燃物や粗大ごみを砕いて流す
ベルトコンベヤー付近から出火

学校給食の地産地消本気で目標達成を 日本共産党と納入業者が市に要望

12月18日、日本共産党市議団、下島良一氏、給食食材納入業者の
みなさんが、学校給食センターで「学校給食に地産地消を取り入れ、
市内業者重視の食材確保を」と市に要望書を提出しました。

農産物の納入は市内3業者が行っています。ところが数年前から
市外業者が参入。当然市外市場で買い付けをするので碧南市産は入
りません。自ら決めた数字目標も半分以下では、食育どころではあ
りません。

要望事項

- 1、第三次食育推進計画に掲げた、碧南産農産物の使用目標を必ず
達成してください。
- 2、農産物の入札見積りの結果を、参加業者に公表し、第三者か
ら公正で透明性のある購入方法にしてください。

碧南市第三次食育計画目標

未達成の 食育計画。 地産地消	目標値	達成率	
		2017年	2018年
市内産	30%	17.70%	12.20%
県内産	60%	45.30%	37.70%

9条改憲への執念 首相の憲法破壊は許されない



「次の通常国会で」とんでもない。あなたのやるべきことは「桜を見る会」「前夜祭」の真実

臨時国会の閉幕以降、安倍晋三首相が憲法9条に自衛隊を書き込む改憲に固執する発言を重ねています。先週末には時事通信主催の内外情勢調査会で講演し、次の通常国会での改憲議論の進展を要求しました。自民党が各地で開いている改憲集会向けに作成したメッセージ動画にも登場し、9条改憲を実行するために「国民的議論を」などと訴えています。

安倍首相こそが憲法違反

首相が改憲の旗を振り続けるのは憲法99条の憲法尊重擁護義務に反し、国会での改憲議論を迫るのは「三権分立」の原則を踏みにじるものです。憲法と立憲主義を壊す安倍改憲は許されません。

際立つ憲法の私物化

安倍首相は13日の内外情勢調査会の講演で国会の憲法審査会で憲法改定の「中身の議論が行われるのを期待したい」と強調しました。臨時国会閉幕直後の9日の記者会見で2021年9月までの自民党総裁任期中の改憲を「必ずや私の手で成し遂げたい」と強い執念を示したことに続くものです。

思惑通りに進まぬイラダチ

安倍首相が改憲発言を繰り返すのは、17年5月の「憲法記念日」に9条などを改定した憲法を20年に施行すると言いついたものの、その改憲スケジュールが思惑通りには進んでいないからです。今年7月の参院選では街頭演説で「改憲」を訴えて回りましたが、国民は自民・公明などの改憲勢力に、改憲案の発議に必要な3分の2以上の議席を与えませんでした。先の臨時国会でも、憲法審査会での自民党改憲案の提示は、4国会連続で

できませんでした。

国民は改憲反対

週末に共同通信が行った世論調査では、安倍首相の下での「憲法改正」に「反対」が54・4%で、前回11月の調査より5・2ポイント増加しています（「東京」16日付）。「産経」とFNNの調査でも改憲に「賛成」が減り「反対」が増えています。首相が改憲を「私の手で成し遂げたい」と表明したことについても「評価しない」が50・9%に達しました（17日付）。

国民が望んでもいない改憲を強行するのは、憲法の私物化そのものです。しかし安倍首相は9条改憲の暴走をやめようとしません。

「自衛隊明記」「9条破壊」が本丸

自民党が各地で開いている改憲集会向けメッセージ動画の中で首相は、「現行憲法も制定から70年余りが経過し、時代にそぐわない部分は改正を行っていくべき」「その最たるものが憲法第9条です」と決めつけて、「憲法にしっかりと私たちの『自衛隊』を明記しよう」と得々と語っています。文字通り、「安倍改憲」の本丸は9条です。「全国津々浦々国民的議論を深めていきたい」と力説したのは、全国各地から改憲機運を盛り上げ、来年1月召集の通常国会での改憲議論に拍車をかける狙いからです。

おごる総理に鉄槌を

首相は「（自民党の）地方組織や後援会をフル動員すれば、憲法改正への理解を得られる」とも発言（9日）しています。改憲にあくまで固執する安倍政権を、全国からの「憲法守れ」の世論と運動で包囲することが重要です。

国民と野党が力を合わせ

安倍首相が主張するように憲法9条に自衛隊を明記すれば、現行憲法の戦力不保持・交戦権否認

の規定が空文化・死文化し、自衛隊が大手を振って、海外に出ていくこととなります。日本を再び「戦争する国」にする「安倍改憲」を阻止するため、野党と国民が力を合わせましょう。

希望を語る集い

12月21日(土) 午後3時～4時半
鷺塚団地 老人憩の家
鷺塚町6-8-1

※ 来年4月からの西尾市くるりんバスの説明もします。ぜひ、おこください

市議選3議席勝利・桜を見る会迫及・野党連合政権を

新春の集い

1月11日(土) 午後2時～4時
市役所レストラン2階
会費 500円(軽食付き)

19日行動1月19日(日)

午前11時～12時スーパーヤマナカ前

日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦

☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718

三度山町2-70-4 笹山町6-29 若松町3-253

お気軽にご意見ご要望を